

リメンバー名古屋自死遺族の会
自死遺族向けセミナー

2016年12月18日(日)

愛知県産業労働センター **ウインクあいち**

JR・地下鉄・名鉄・近鉄 名古屋駅下車 徒歩5分

12階 1204中会議室

13:30~16:30 (13:15開場)

人それぞれの別れ方、
メモリーがある

講師 碑文谷 創 (ひもんやはじめ) 氏

葬送ジャーナリスト。元雑誌『SOGI』編集長。

死・葬送文化・グリーフ(死別の悲嘆)についての評論活動をされています。

主な著書『「お葬式」はなぜするの?』(講談社+α文庫)

『Q&Aでわかる 葬儀・お墓で困らない本』(大法輪閣)

『新・お葬式の作法』(平凡社新書)

『死に方を忘れた日本人』(大東出版社)

『お葬式の後にすること』(葬儀概論) (表現文化社) など。

[主催] リメンバー名古屋自死遺族の会
[後援] 愛知県・名古屋市

参加費無料・事前申し込み不要

愛知県地域自殺対策強化事業費補助金事業

企画への思い

当会では、自分たち自死遺族を救うもの、その手掛かりになるものはなんだろう?という思いから、自死遺族当事者向けの支援セミナーを開催してきました。

今回は、葬送ジャーナリストで、元雑誌『SOGI』編集長の、碑文谷創(ひもんや・はじめ)氏をお招き致します。

碑文谷氏が創刊された雑誌『SOGI』は、1991年の創刊以来、四半世紀にわたり葬送のあり方を問い続けてきた専門雑誌です。『SOGI』には、ごく早い時期から、「グリーフ(grief)」についての記事がありました。大切な人を失くした悲しみ・苦しみをあらわす「グリーフ」という概念があり、グリーフを持った遺族は、適切にサポートされる必要があること、また、死別の悲しみの当事者自身が、意識して行う心の作業(喪の作業・グリーフワーク)が、死別の悲しみを抱えて生きていく上でとても大切であること、などについてわかりやすく書かれており、リメンバー名古屋自死遺族の会の立ち上げの際、分かち合いの進行のあり方に、大きな示唆を与えてくれた雑誌でもありました。

今回は、死別の悲しみ(グリーフ)への対処について、心理の専門家でも宗教者でもないお立場から、私たち自死遺族に向けたお話を伺います。

また、リメンバー名古屋自死遺族の会のわかちあいの会では、「納骨したくない!」「いまあるお墓に入れたくないけど・・・」などの声も多くあるため、お墓や供養などについての最新情報も伺いたと思います。「こんな形のお墓もあるんだ」「こんな供養の仕方もあるんだ」など、送り方の選択肢が増えることで、少しでも、気持ちを楽にさせていただけることがあればよいな、と思います。

スケジュール

自死遺族の方だけでなく、一般の方々のご参加もお待ちしております。

開会	13:30~13:45	主催者あいさつ・リメンバー名古屋自死遺族の会について
第一部	13:45~15:15	講演 碑文谷創氏
第二部	15:30~16:00	質疑応答・対談 碑文谷創氏×リメンバー名古屋自死遺族の会スタッフ
フリータイム	16:00~16:30	今回、茶菓はありませんが、時間いっぱいまで会場内でお過ごしいただけます。 リメンバー名古屋自死遺族の会へのご質問などにも、スタッフが個別にお話しさせていただきます。

会場への交通のご案内

愛知県産業労働センター 「ウインクあいち」

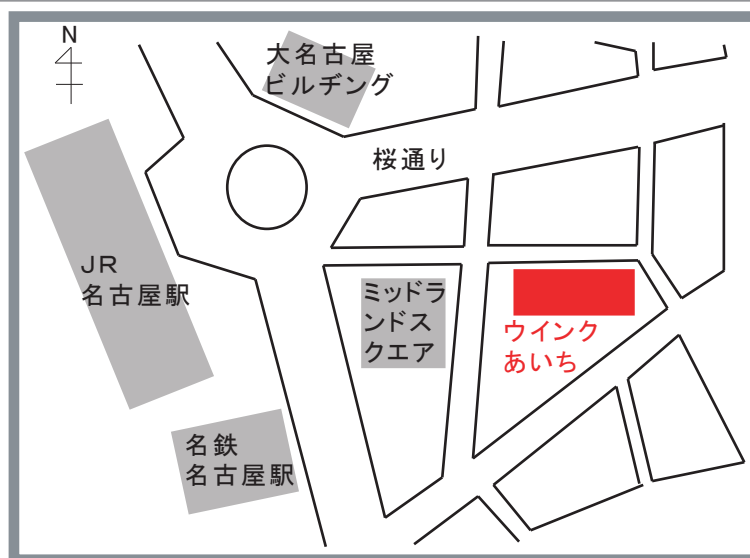
〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38

(JR・地下鉄・名鉄・近鉄)名古屋駅より

◎JR名古屋駅桜通口から

ミッドランドスクエア方面 徒歩5分

◎ユニモール地下街 5番出口 徒歩2分



リメンバー名古屋自死遺族の会

家族・友人・恋人など、近い方を自死(自殺)で失くした遺族の自助グループです。
名古屋市内で、2ヶ月に一度、遺族会(分かち合いの会)を開催しています(2003年12月～)。

ホームページ: <http://will.obi.ne.jp/remember/> E-mail: remember_nagoya@yahoo.co.jp FAX: (020) 4668-8925
郵便: 〒612-8799 京都府京都市伏見区撞木町1148 伏見郵便局留 「リメンバー名古屋」